

第112回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和8年度第4回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会	資料1-3-4
2026（令和8）年7月24日	

新型コロナワクチン接種後の心筋炎又は心膜炎疑いとして報告された事例の概要

スパイクバックス筋注シリンジ12歳以上用・スパイクバックス筋注シリンジ6ヵ月～11歳用

1. 報告状況

- 7月24日審議会 集計期間：令和8年1月1日～令和8年3月31日

スパイクバックス筋注

	接種可能のべ人数（回分） ^{注1}	心筋炎 ^{注2} 疑い事例	心膜炎 ^{注3} 疑い事例
		（報告頻度）	（報告頻度）
令和8年1月1日～ 令和8年3月31日	—	0	0
		—	—
（参考 ^{注4} ） 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	205,811	0	0
		(0.0000%)	(0.0000%)

注1：令和8年1月1日から令和8年3月31日までの医療機関への納入数量を接種可能のべ人数（回分）として利用。

注2：「免疫性心筋炎」、「好酸球性心筋炎」、「巨細胞性心筋炎」、「心筋炎」、「自己免疫性心筋炎」、「心筋心膜炎」※MedDRA PT(ver.28.0)

注3：「心膜炎」、「胸膜心膜炎」、「自己免疫性心膜炎」、「免疫性心膜炎」※MedDRA PT(ver.28.0)

注4：製造販売業者による調査の結果、症例の重複等が判明し報告が取り下げられることがある。

2. 専門家の評価

- 令和8年3月31日までに報告された心筋炎疑い事例、心膜炎疑い事例を対象に、専門家の評価を実施（別紙1、別紙2）。
- 評価結果の概要は、次のとおり。

（1）心筋炎疑い事例

スパイクバックス筋注

ブライトン分類 因果関係評価	総数					
		1	2	3	4	5
α	0	0	0	0	0	0
β	0	0	0	0	0	0
γ	0	0	0	0	0	0

（2）心膜炎疑い事例

スパイクバックス筋注

ブライトン分類 因果関係評価	総数					
		1	2	3	4	5
α	0	0	0	0	0	0
β	0	0	0	0	0	0
γ	0	0	0	0	0	0

(参考1) ブライトン分類レベル1～3の報告頻度(令和6年4月1日～令和8年3月31日)

①心筋炎疑い事例

スパイクボックス筋注		
接種可能のべ人数(回分)※	件数 (ブライトン分類1～3)	頻度
205,811回	0件	0件/100万回

②心膜炎疑い事例

スパイクボックス筋注		
接種可能のべ人数(回分)※	件数 (ブライトン分類1～3)	頻度
205,811回	0件	0件/100万回

【参考】ブライトン分類レベル1～5の報告頻度の推移

①心筋炎疑い事例

スパイクボックス筋注		
接種可能のべ人数(回分)※	件数 (ブライトン分類1～5)	頻度
205,811回	0件	0件/100万回

②心膜炎疑い事例

スパイクボックス筋注		
接種可能のべ人数(回分)※	件数 (ブライトン分類1～5)	頻度
205,811回	0件	0件/100万回

※令和6年4月1日から令和8年3月31日までの医療機関への納入数量を接種可能のべ人数(回分)として利用。

【別紙1】

新型コロナワクチン接種後の心筋炎が疑われる※症例（重篤）

（令和8年1月1日から令和8年3月31日までの報告分）

※抽出基準：症状名が免疫性心筋炎、好酸球性心筋炎、巨細胞性心筋炎、心筋炎、自己免疫性心筋炎、心筋心膜炎、心筋炎・筋炎・重症筋無力症オーバーラップ症候群として報告された症例。

集計期間中の対象症例なし

【別紙2】

新型コロナワクチン接種後の心膜炎が疑われる※症例（重篤）

（令和8年1月1日から令和8年3月31日までの報告分）

※抽出基準：症状名が心膜炎、胸膜心膜炎、自己免疫性心膜炎、免疫性心膜炎として報告された症例。

集計期間中の対象症例なし